

【第6分科会】

聴覚障害のある社会人を対象としたキャリア支援の実践報告

—コロナ禍における講座や情報交換会の
オンライン開催について—

- 後藤 由紀子（筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター 助教）
河野純大・石田 祐貴・松谷 朋美（筑波技術大学産業技術学部）



筑波技術大学は、日本で唯一の、聴覚・視覚障害者のための高等教育機関です。

社会に貢献できる先駆的な人材を育成することを教育的使命とし、この使命を果たすために幅広い教養と高い専門性を授ける教育を行っております。

学 部：産業技術学部、保健科学部

大学院：技術科学研究科

（産業技術学専攻／保健科学専攻／情報アクセシビリティ専攻）

大学ホームページ <https://www.tsukuba-tech.ac.jp/>

はじめに

» 筑波技術大学（本学） 開学以来の取組

専門職業人の育成

1989年の開学以来、聴覚・視覚障害者を高度専門職業人として養成する使命を担ってきた。

学生へのキャリア支援

就職先企業の開拓、聴覚障害学生と企業のマッチングのノウハウを蓄積してきた。

卒業生のフォローアップ

就職先企業への障害理解啓発、転職・再就職へ向けた相談支援等を行ってきた。

…本発表では、特に**聴覚障害学生・者への支援**に焦点をあてて紹介する。

» 学生へのキャリア支援

- ・ 就職率ほぼ100%
- ・ 学内合同企業説明会
- ・ キャリアサポーターによる個別相談
- ・ 企業向け大学説明会

» 卒業生・社会人の支援

- ・ フォローアップ相談、企業向け障害理解研修等の個別対応
- ・ 出張講座
- ・ 学び直し講座
- ・ ライフ&キャリアサポート講座
- ・ 外部資金（**日本財団**、文部科学省）による事業受託

はじめに

» 本学卒業生の声

学びの場に

手話通訳・文字通訳等の**情報保障**が必要

- ➡ 要望がうまく伝わらず、
社内研修プログラムに情報保障が配置されない
- ➡ 専門学校等から受け入れを拒否される

学びたくても学びの機会が得られない
…転職、キャリアアップの
機会から遠ざかる

金銭的負担
ノウハウに関する情報不足

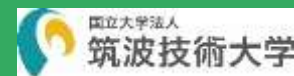


日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」

本学では、令和元年度より日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置(～令和5年度)」を受託している。

当事業の目的は、本学の学生・卒業生に限らず、広く聴覚障害学生や聴覚障害のある社会人にキャリア支援を行う拠点を構築することである。事業内容は、以下の通り。

「聴覚障害者のための キャリアサポートセンターの設置」事業



事業概要

社会人対象事業

- **就労上の悩みや情報を交換する情報交換会**の開催
- 職業生活に役立つ知識、情報を提供する
ライフ&キャリアサポート講座の開催 等

企業対象事業

- 会社説明会におけるコミュニケーション支援
- 聴覚障害者の雇用管理等に関する相談 等

当事業は、
日本財団の助成を受けて行われています。



ホームページはこちら！⇒<https://tsukutech-social.net/site/>



相談対応拠点事業

- つくば拠点(筑波技術大学内)、東京拠点(サテライトオフィス)にて相談対応を行います。

現役学生対象事業

- 社会人の聴覚障害者の話を聞く会の開催
⇒ 就労する上で必要なスキルを在学中に学ぶことを目的としています。
- 企業説明会の開催 等

お問い合わせ先

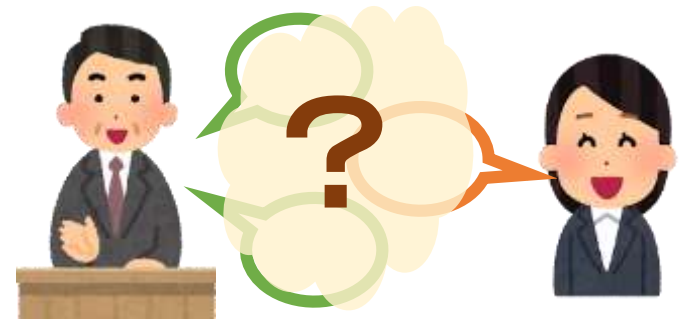
〒305-8520 茨城県つくば市天久保4-3-15総合研究棟R207室
国立大学法人筑波技術大学
「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンター」 つくば拠点
TEL/FAX 029-858-9021
E-mail career_support@tsukutech-social.net

日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」

聴覚障害者を対象とした講座・イベントにおける情報保障

情報保障とは…

その場でやり取りされている情報を、**全ての参加者**が同時に**同質・同量の情報**を得られるようにするための活動の総称



講座における情報保障とは…

受講者が、**講師や他の受講者の発話内容等の情報**を漏れなく把握できるようにすることを指す。

日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」

聴覚障害者を対象とした講座・イベントにおける**情報保障**

手話通訳



遠隔形式
(オンライン)



対面形式

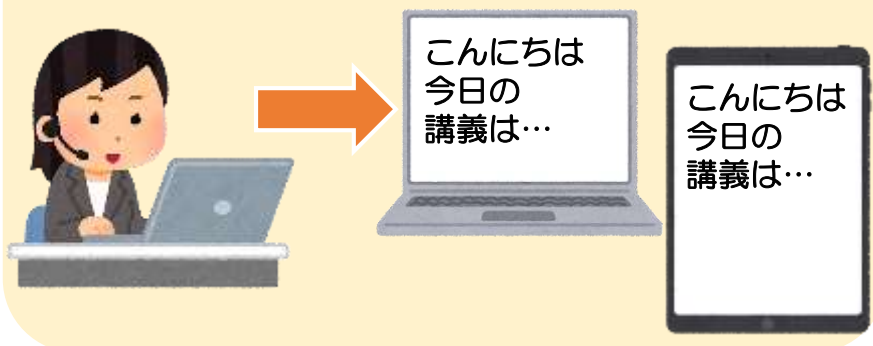
日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」

聴覚障害者を対象とした講座・イベントにおける**情報保障**

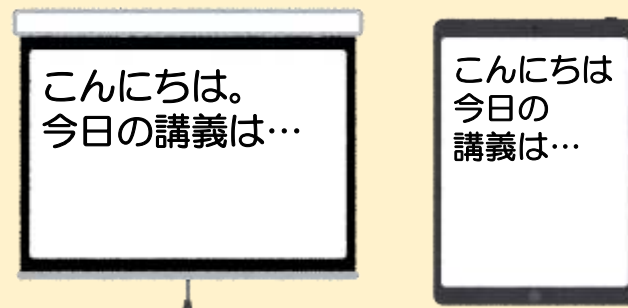
パソコン文字通訳



遠隔で入力されたものを配信



現場で入力されたものを
スクリーン、タブレット等に投影、送信



ライフ&キャリアサポート講座

» コロナ禍前の開講形式（2019年度）

場所：都内の貸し会議室

形式：対面開催

（講師・受講者・手話通訳者が同じ会場にいる）

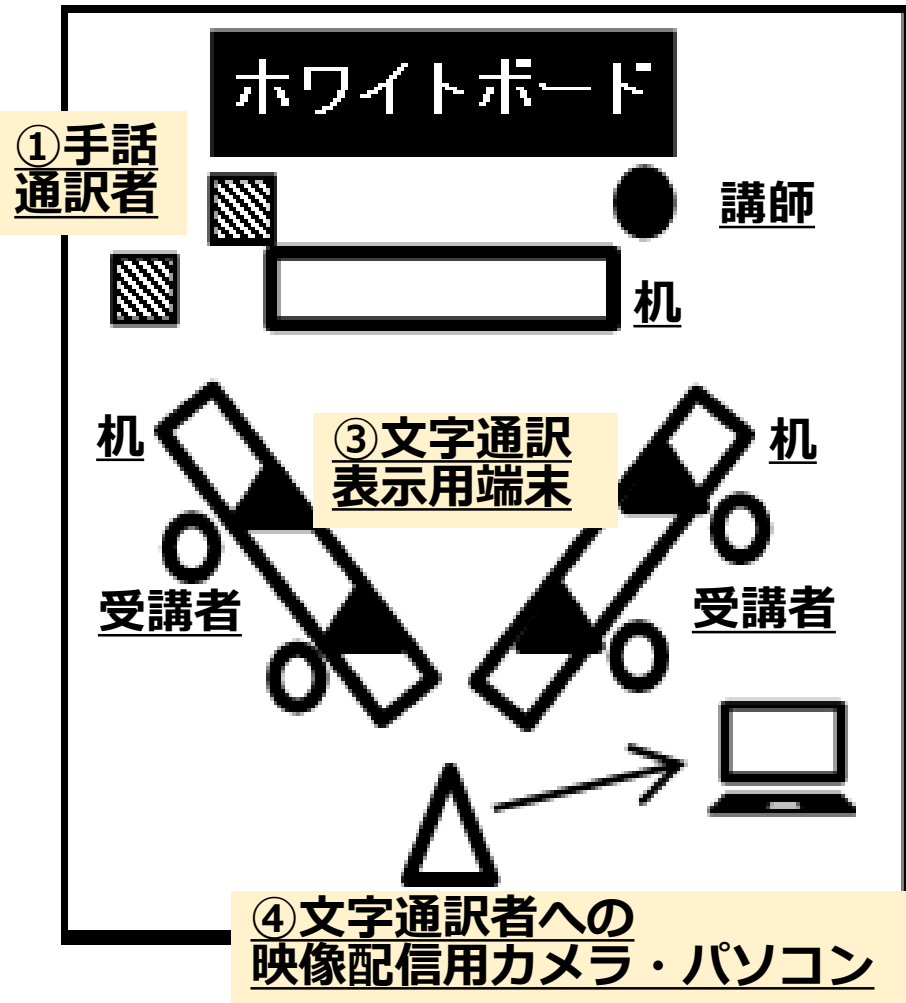
情報保障：手話通訳・文字通訳

（文字通訳は遠隔形式で行い、入力結果を各受講者の机の上に設置したタブレット端末に表示させる）

情報保障に必要な人・機材：

- ①手話通訳者
 - ②文字通訳者
 - ③文字通訳表示用タブレット端末
（受講者数と同じ）
 - ④ビデオカメラとパソコン 各1台
（オンライン会議システムに接続）
- ※文字通訳者への配信のため

この他、上記機材を設営・管理する人員。
詳細は右の配置図を参照のこと。



※③文字通訳者は遠隔で対応。
カメラを通して会場の音声を把握する。

ライブ&キャリアサポート講座

» コロナ禍における開講形式

場所(配信会場) : 本学@茨城県つくば市

形式 : オンライン形式

Web会議システムZoomを使用

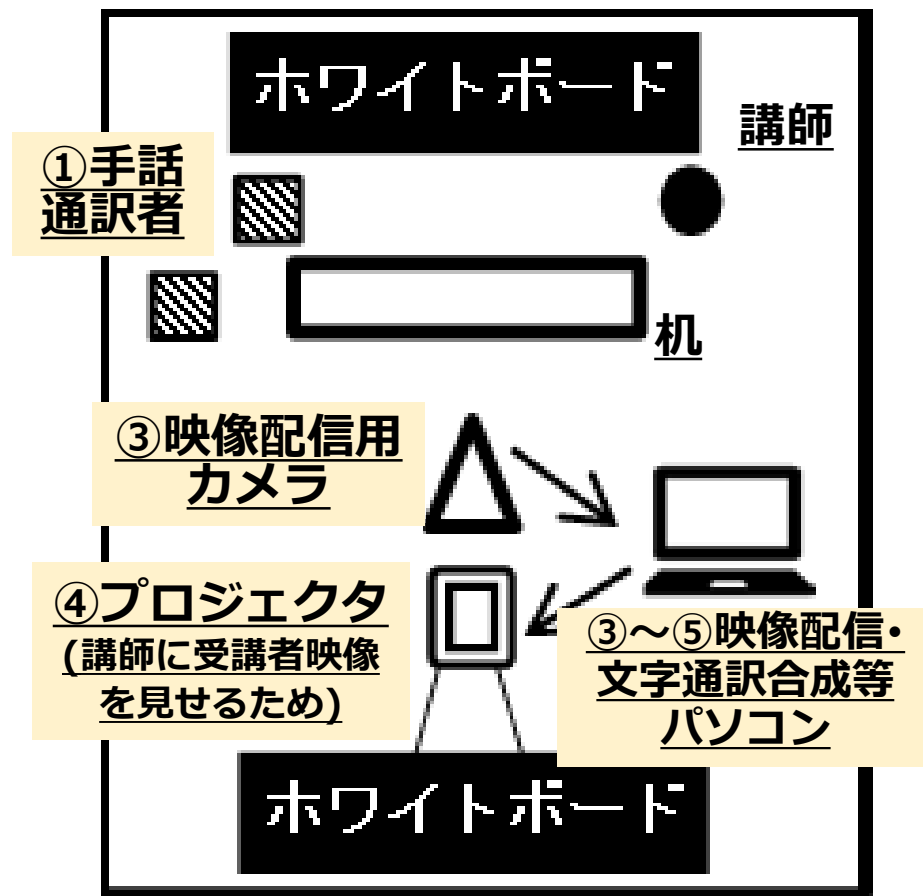
情報保障 : 文字通訳、手話通訳

(文字通訳・手話通訳の情報もZoomに乗せて配信し、受講者が手元のパソコン等で閲覧する)

情報保障に必要な人 : 機材 :

- ①手話通訳者
- ②文字通訳者
- ③ビデオカメラとZoomに接続されたパソコン
※受講者・文字通訳者への配信のため
- ④プロジェクタとZoomに接続されたパソコン
※講師に受講者の映像を見せるため
- ⑤映像合成が可能なソフトの入ったパソコン
※文字通訳画面をZoom上に表示させるため
(③~⑤は、1台で兼ねることができる。)

この他に、上記機材を設営・管理する人員。
詳細は右の配置図を参照のこと。



ライフ&キャリアサポート講座

» 受講画面イメージ(遠隔で手話通訳を行う場合)

講師・文字通訳・手話通訳の**情報を全て一画面で**閲覧することが出来る。



聴覚障害のある社会人のオンライン情報交換会

» 情報交換会開催の背景



**職場内での
情報不足・
孤立感**



聴覚障害者同士の 情報交換の場

職場でのコミュニケーションにおける工夫??
便利な音声認識ツールは?
障害についてどう説明する?
などなど…

» 情報交換会開催の開催方法

- * 初回から全て**オンライン開催**（コロナ禍のため）
- * **配信の拠点はなし**、本学スタッフもそれぞれ自宅や職場等からZoomに参加。
- * 手話が分かる／分からない、音声の聞き取りが出来る／出来ない、など参加者によってコミュニケーション方法が異なるため、
音声情報を文字通訳しZoomに表示させる
司会は自身の背景に文字情報の載った資料を提示しながら手話で話す
伝わりにくい時にはチャットを用いるといった工夫で対応。
- * Zoom内では**1グループあたりの人数を最大10名程度に制限**、参加者1人1人の手話を読み取るのに不自由の少ないよう配慮している。



聴覚障害のある社会人のオンライン情報交換会

» 情報交換会の開催イメージ

文字通訳・提示資料・手話・チャットなど、**様々なコミュニケーション手段を確保**する、一画面で見やすい人数にグループ分けをするなど工夫している。



イベントのオンライン開催におけるメリットと課題

» オンライン開催のメリット

参加者や通訳者が**会場に足を運ぶ必要がなくなった**

➡ **幅広い地域在住の参加者**受け入れが可能に

➡ **通訳者手配の労力が減少**

(遠方の文字・手話通訳者に依頼出来るようになり
選択肢が増えた)



» オンライン開催の課題、今後の展開

* Web会議システム上での**情報保障の表示**
(手話通訳・文字**通訳の表示場所や大きさ**)

* **コミュニケーション方法**

(チャットや**オンラインホワイトボードの活用**、等)

は試行中

【情報保障の表示】
講師映像の中に
手話通訳を合成する、など→



* **録画配信、動画教材**の活用を
検討中

➡ **学習方法・機会の拡大**

